

多様化する創薬モダリティの現状と展望
Diversification of pharmaceutical modalities

辻 真博
Masahiro Tsuji

JST 研究開発戦略センター
Center for Research and Development Strategy, JST

20 世紀後半以降のライフサイエンス研究の急速な進展が、画期的な治療薬開発の原動力となり、かつては不治の病とされた疾患が、次々と制御可能な疾患となりつつある。モダリティ(治療技術のタイプ)の観点からみると、長らく低分子医薬が医薬品市場の中心であったが、近年では抗体医薬がそれと並び立つ存在感を示しつつある。そして現在、低分子医薬・抗体医薬に次ぐ新たなモダリティのアイデアが続々と登場し、既に上市事例の登場に至ったモダリティも複数見られる。特定の疾患に対して、様々なモダリティの研究開発競争が激化するなど、創薬は新たな展開を迎えているとも言える。

本講演では、医薬品開発および関連市場の歴史と現状を述べつつ、多様化するモダリティの研究開発において、重要と考えられる方向性について私見を述べたい。